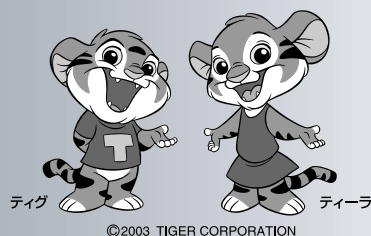
品番 ③
ASP-A型

家庭用

スチームファン式加湿器

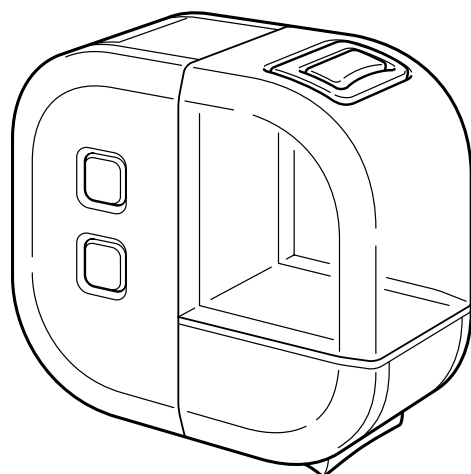
取扱説明書 保証書つき

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

便利な機能

ファンで蒸気を素早く送り出す
スチームファン式加湿器

マイナスイオンでお部屋をリフレッシュ
森林や高原など自然界に豊富なマイナスイオン。
運転中は、このマイナスイオンを電気方式で大量に発生させ、プラスイオンを中和します。
P.7・9

運転モードは、
「強」と「弱」が選べます
P.9

日本国内100V専用（交流100V以外の電源では使用できません）

もくじ

はじめに
1 安全上のご注意 ……2
2 各部のなまえとはたらき ……6
使いかた
3 加湿のしかた ……8
4 使い終わったら ……10
5 お手入れのしかた ……11
困ったときは
6 故障かな？と思ったら ……13
その他
仕様 ……14
消耗部品の取り替えについて ……14
保証とサービスについて ……15
連絡先 ……15

1 安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

※お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するために必ずお守りください。
※本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。
※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

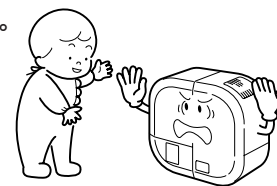
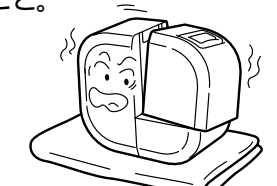
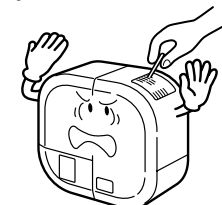
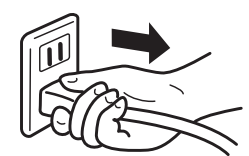
注意事項は、誤った使いかたで生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

⚠ 警告

「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示します。

⚠ 注意

「傷害を負う、または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の例

この絵表示は行為を「禁止」する内容です。

（分解禁止）

この絵表示は行為を「強制」したり、「指示」したりする内容です。

（強制・指示）

（差し込みプラグを抜く）

⚠ 警告

交流100V以外では使用しない。
火災・感電の原因。

定格15A以上のコンセントを単独で使用する。
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火するおそれ。

電源コードは、破損したまま使用しない。また、電源コードを傷つけない。
（加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを載せる・挟み込むなど）
火災・感電の原因。

差し込みプラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る。
火災の原因。

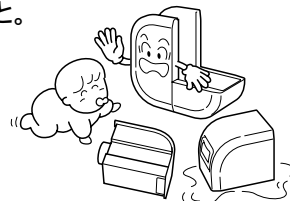
差し込みプラグは根元まで確実に差し込む。
感電・ショート・発煙・発火のおそれ。

ぬれた手で、差し込みプラグの抜き差しをしない。
感電やけがをするおそれ。

電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・発火の原因。

器具用プラグ（磁石式）の先端にピンなど金属片やゴミを付着させない。
感電・ショート・発火の原因。

器具用プラグをなめさせない。
乳幼児が誤ってなめないよう注意すること。
感電やけがの原因。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。
転倒させると熱湯が出てやけどをしたり、けがのおそれがあるので充分注意すること。

⚠ 警告

蒸気孔や本体にさわったり、顔などを近づけない。
やけどの原因。

蒸気孔やマイナスイオン発生口・吸気カバー・すき間などに、ピン・針金など金属物（異物）を入れない。
やけどをしたり、感電や異常動作してけがをするおそれ。

不安定な置き場所には置かない。
転倒すると熱湯がこぼれ、やけどの原因。また安全装置の誤作動の原因。毛あしの長いカーペットなどの上には置かないようにすること。

お手入れするときは、必ず差し込みプラグをコンセントから抜く。
感電やけがをするおそれ。

本体を水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電のおそれ。

改造はしない。修理技術者以外の人は分解したり、修理をしない。
火災・感電・けがの原因。
修理はお買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口までご相談ください。

⚠ 注意

使用時以外は差し込みプラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

差し込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず差し込みプラグを持って引き抜く。
感電やショートして発火するおそれ。

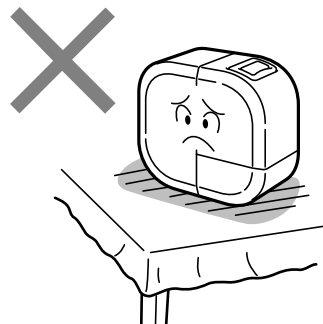
使用中や使用直後は持ち運ばない。
熱湯がこぼれ、やけどの原因。また、運転停止の原因。

使用中や使用直後はお手入れしない。
高温部にふれ、やけどの原因。

1 安全上のご注意

お願い

●熱に弱いものの上では使用しない。

テーブルなどが変色・
変形するおそれ。

●水タンクおよび水槽に水道水以外の水を入れない。

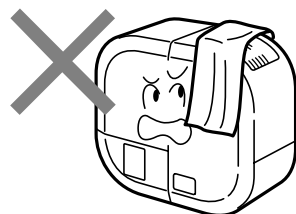
使えない水

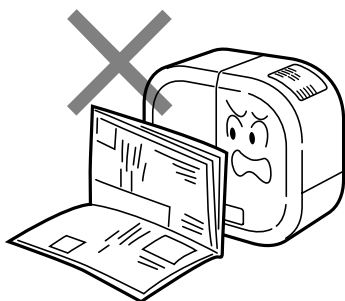
- 浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水、汚れた水など
  水道水（飲料用）は、抗菌処理がされており、その他の水は抗菌作用がないため、カビや雑菌が発生しやすい原因。
- 温水（40℃以上）、化学薬品、芳香剤、洗剤を入れた水など
  本体が変形し故障の原因。

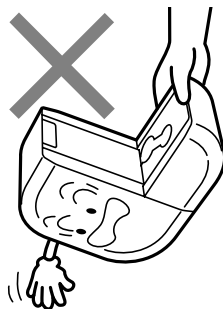
●この製品専用の電源コードを使用する。

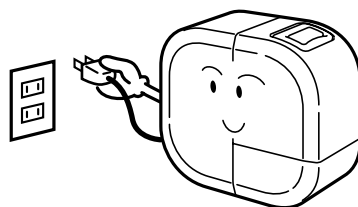
他に転用したり、類似のものを使用しない。
故障・発火のおそれ。

●蒸気孔をフキンなどでふさがない。

故障の原因。

●吸気カバーをふさいで使用しない。

故障の原因。

●本体は両手を使って水平に持ち運ぶ。

傾けたり、転倒すると熱
湯がこぼれるおそれ。

●お手入れするときや、使用後、蒸発皿に残った水をすてるときは、差し込みプラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行う。

やけどのおそれ。

●蒸発皿のお手入れに塩素系、酸性タイプの洗剤やクエン酸は使用しない。

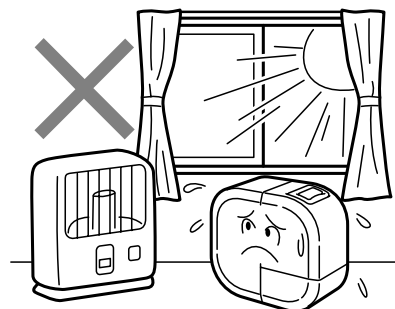
特に、塩素系・酸性タイプの
洗剤は有害ガスが発生し、健
康を害するおそれ。また、故
障の原因。

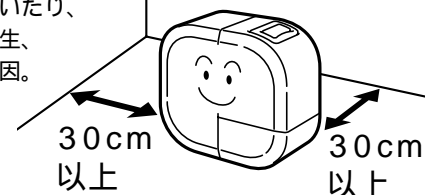
●丸洗いはしない。

本体を丸洗いしたり、本体の内部や底部に水を入れたりしない。
ショート・感電のおそれ。

末永くご使用いただくために、必ずお守りください

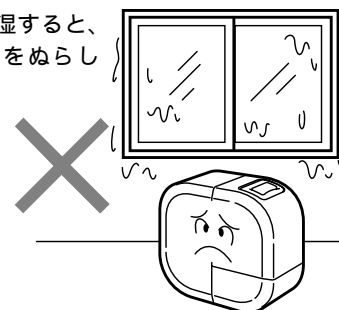
●直射日光のあたるところや、暖房器具の近くで使用しない。

水タンク内の空気が膨張し、本体から水があふれるおそれ。また、プラスチック部分の変形・変質の原因。

●壁や家具・天井などの近くに置かない。

壁・家具・天井やカーテンに
シミがついたり、
カビの発生、
変形の原因。

●テレビ・ラジオ・コードレス電話・エアコンなどから1m以上離して置く。

テレビ画面のチラツキや、雑音が入るなど
電波障害の原因。

●加湿しすぎない。

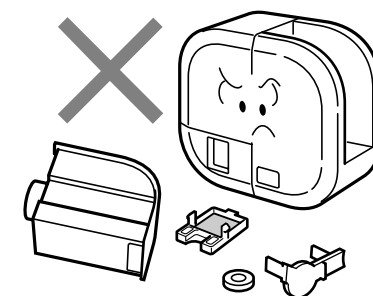
長時間連続で加湿すると、
結露などで室内をぬらし
たり故障の原因。

●水タンクの水は毎日新しい水道水と交換する。本体内部に残った水は毎日すてる。また本体内部は週2回程度定期的にお手入れする。

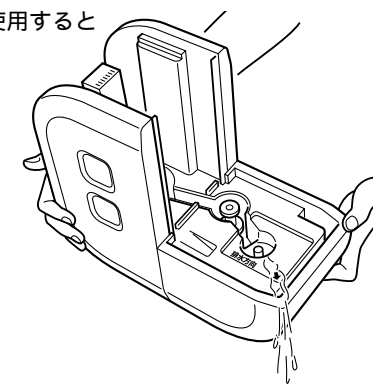
汚れや水あかで性能が低下したり、悪臭がするおそれ。本体内部で水あかが膜状になって付着し、蒸気孔より風とともに吹き出すことがあるのでこまめにお手入れをすること。

●クリーニングフィルターはこまめにお手入れする。

蒸発皿の汚れが取れにくくなり、加湿量の低下やカビ、雑菌の繁殖による悪臭、故障の原因。また汚れや破損がひどくなったときは交換すること。

●蒸気カバー・クリーニングフィルター・吸気カバー・水路カバーをはずしたまま使用しない。

性能が発揮されず、また蒸発皿に水あかなどがたまり、故障の原因。

●凍結に注意。

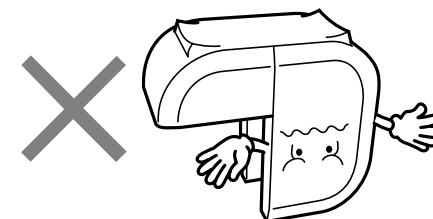
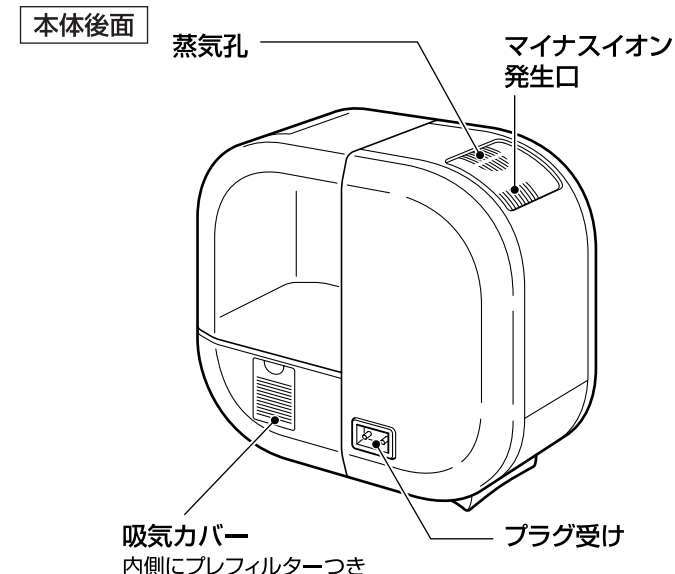
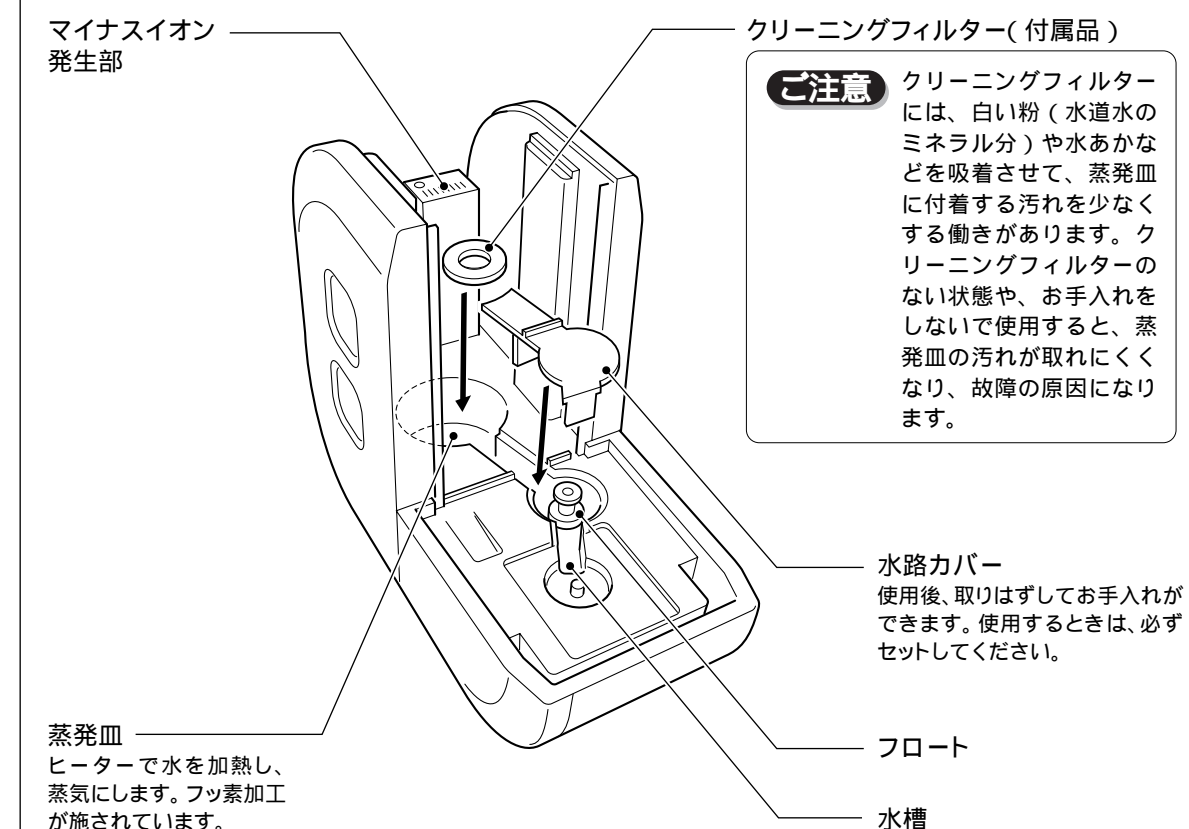
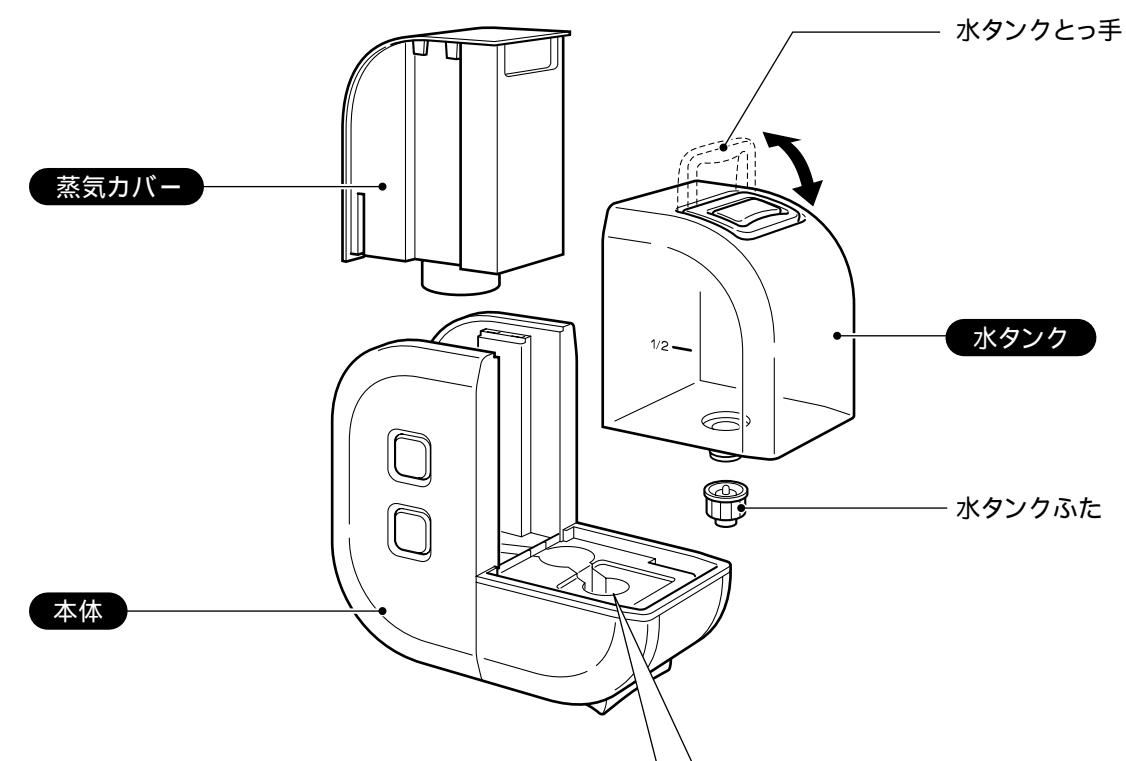
使用しないときは水タンクと本体から水をぬくこと。
凍結したまま使用すると
故障の原因。

●本体をさかさにしない。

底部が水にぬれていると、底部から水が入り、
故障の原因。

2 各部のなまえとはたらき

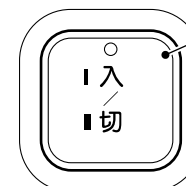
ご注意 クリーニングフィルターには、白い粉（水道水のミネラル分）や水あかなどを吸着させて、蒸発皿に付着する汚れを少なくする働きがあります。クリーニングフィルターのない状態や、お手入れをしないで使用すると、蒸発皿の汚れが取れにくくなり、故障の原因になります。

水路カバー
使用後、取りはずしてお手入れができます。使用するときは、必ずセットしてください。

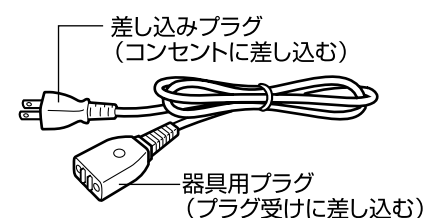
蒸発皿
ヒーターで水を加熱し、蒸気にします。フッ素加工が施されています。

〈操作・表示部〉

給水/上限水位ランプ
水タンクをセットしていないとき、および水タンクの水がなくなると点灯します。
また、水タンクに水が入っていても、水路カバーをセットせずに使用した場合は、蒸発皿の水位があがって安全のため、給水/上限水位ランプが点灯して運転を停止することがあります。その場合は、一度本体内部の水をすててから水路カバーをセットしてください。

給水/上限水位

強/弱 キー
運転モードの「強」「弱」を切り替えます。「強」運転時は、強/弱 キーの上部が点灯します。

入/切 キー
運転の「入」「切」を切り替えます。
運転を「入」にすると、入/切 キーの上部が点灯します。

付属品の確認

〈電源コード〉

〈クリーニングフィルター（2枚）〉

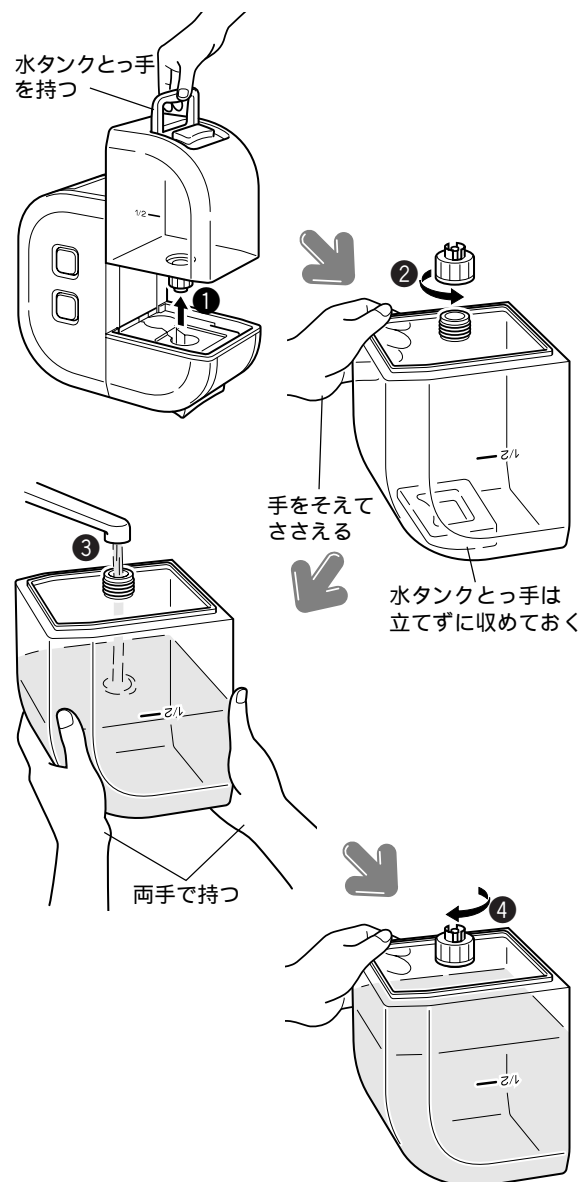
蒸発皿に取りつけます。
（1枚は予備品です。）

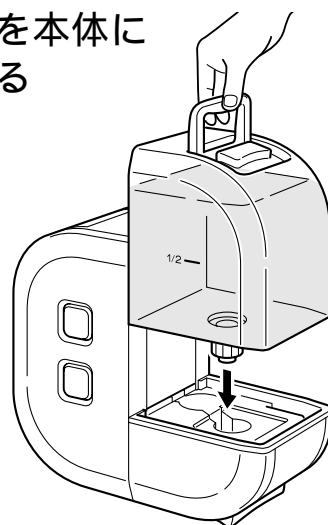
マイナスイオンについて

運転中はマイナスイオンが発生します。
※マイナスイオンの単独運転はできません。

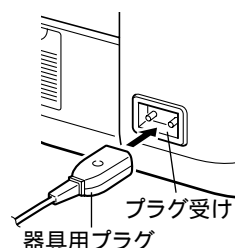
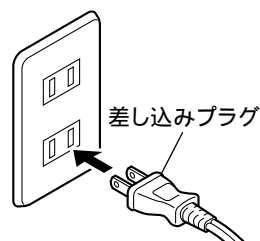
3 加湿のしかた

1 水タンクを取り出して水道水を入れる

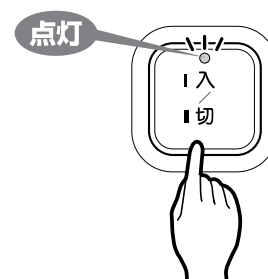
水は、水タンクの½の目盛以上から満水までの間に入れます。

ご注意
- 水タンクふたの開閉や水を入れるときは、水タンクに手をそえてささえながら行ってください。
- 水を入れた後、水タンクふたをしっかりとしめ、水もれがないことを確認してください。

2 水タンクを本体にセットする

ご注意 蒸気カバー・クリーニングフィルター・水路カバーが正しく取りつけられているかを確認してから水タンクを取りつけてください（P.10参照）。正しく取りつけられていないと、充分な加湿ができない、また故障の原因になります。

3 電源コードを接続する

❶器具用プラグを、本体に差し込みます。

❷差し込みプラグをコンセントに差し込みます。

ご注意 器具用プラグには、磁石がついています。ピンなどの金属片やゴミが付着していないか確認してから差し込んでください。

4 運転を「入」にする

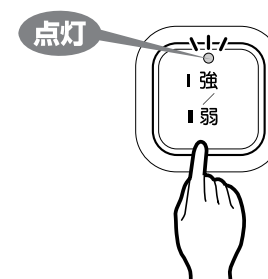
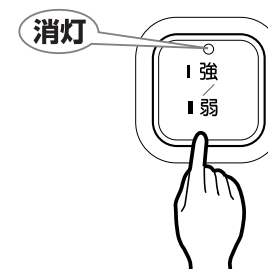
[入/切]キーを押して「入」にします。
[入/切]キーが点灯し、加湿が開始されます。
※運転モードで「強」を選択している場合は、[強/弱]キーも点灯します。

※連続加湿時間の目安は、P.14の「仕様」を参照。
※運転中は、マイナスイオンが発生します。（マイナスイオンは見えません。）
※はじめてお使いになるときに、煙が出たり、においがすることがありますが、故障ではありません。また樹脂などのにおいがすることもありますが、ご使用とともに少なくなります。

ご注意
- 水タンクをセットした直後、[入/切]キーを押すと給水/上限水位ランプが点灯することがありますが、しばらくして水タンクの水が水槽を満たすと給水/上限水位ランプが消えます。
- 水タンクをセットしないと、[入/切]キーを押しても給水/上限水位ランプが点灯して運転が開始されません。

音 運転中に「ブーン」という音がしますが、ファンが作動している音で、異常ではありません。

5 運転モードを選ぶ

[強/弱]キーを押して選びます。
※押すごとに「強」と「弱」が切り替わります。

■「強」運転の場合

■「弱」運転の場合

水タンクの水が少なくなったら…

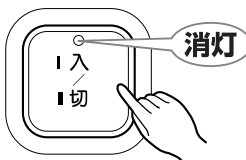
水タンクの水が少なくなると、給水/上限水位ランプが点灯し、運転が自動的に止まります。

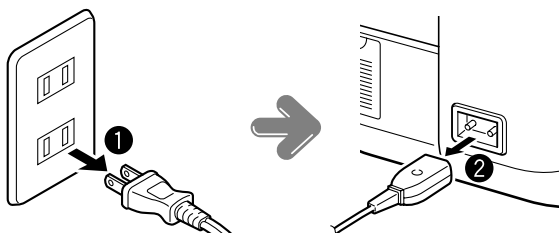
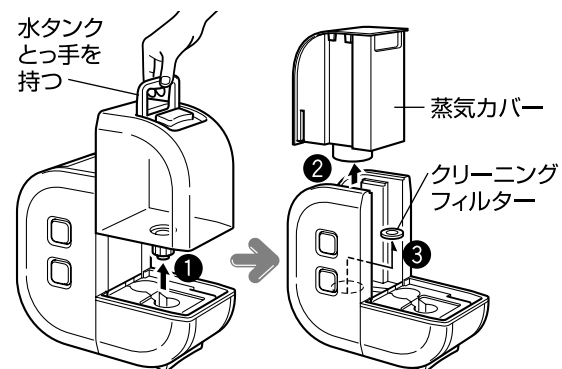
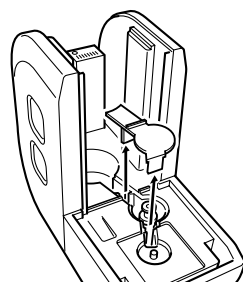
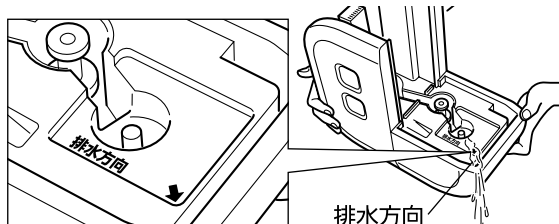
ご注意 続けて使用する場合は、いったん運転を切り、本体が冷めてから蒸発皿・水槽・本体内部に残った水をすてててください（P.10参照）。その後、水タンクに水道水を補給してお使いください（P.8参照）。

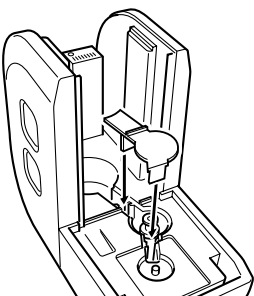
4 使い終わったら

ご注意
- ●違った方向から水をすてると、熱湯が手にかかってやけどをしたり、故障の原因になります。
- ●水タンクの水は毎日新しい水道水と交換してください。蒸発皿・本体内部・水槽に残った水は毎日すててください。変色やにおいの原因になります。

1 運転を「切」にする

入/切キーを押して、「切」にします。
入/切キーが消灯します。
「強」運転時は、強/弱キーも消灯します。

ご注意 プラグをはずして、運転を停止しないでください。

2 電源コードのプラグをはずす

3 本体が冷めた後、水タンク・蒸気カバー・クリーニングフィルターをはずす

4 水路カバーをはずす

5 本体内部に残った水をすてる

6 水路カバーをつける

水路カバーのツメを、本体のミゾにはめ込みます。

7 クリーニングフィルター・蒸気カバーをつける

〈蒸気カバーのつけかた〉
蒸気カバーのツメ(4カ所)を本体の穴にはめ込む。

8 水タンクをセットする(P.8参照)

5 お手入れのしかた

⚠注意 運転を「切」にして、運転が完全に止まってからプラグをはずす。本体が冷めて本体内部の水をすててからお手入れする。

ご注意
- ●本体は、水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート、感電のおそれがあります。
- ●食器洗い乾燥機、食器乾燥器に入れて乾燥させないでください。変形の原因になります。
- ●洗剤、シンナー、クレンザー、金属たわし、化学ぞうきん、ナイロンたわし、漂白剤などは使わないでください。
- ●お手入れ後は各部品を必ずもとの位置に取りつけてください。正しく取りつけられていないと故障の原因になります。

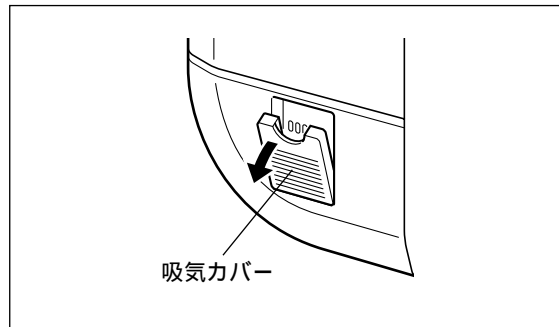
常に清潔に保ち、性能低下・悪臭を防止するためにこまめにお手入れをすることをおすすめします。
水タンクの水は毎日新しい水道水と交換してください。蒸発皿・本体内部・水槽に残った水は毎日すててください。また本体内部は週2回程度定期的にお手入れしてください。

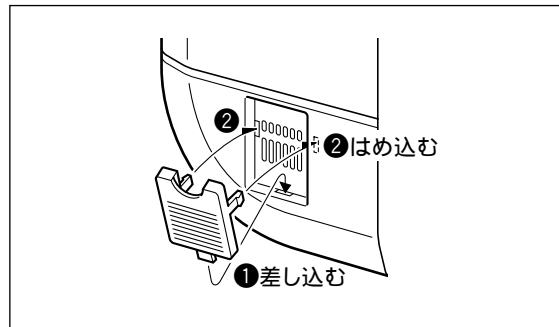
各　部	お手入れのしかた
水タンク	**週1〜2回程度、水タンクに水を入れ、充分にすすぎ洗いをする。**
クリーニングフィルター	**週2回程度、水道水で手もみ洗いする。**
蒸気カバー　水タンクふた　水路カバー	**月2回程度、水でスポンジを使って洗い、乾いた布でふく。**
本体	**●本体外側・本体内部は、週2回程度、本体内部に残った水をすててから、よくしぼったフキンで汚れをふき取る。 ●水路は、水路カバーをはずして、割りばしなどに布をまきつけて汚れをふき取る。 ●蒸発皿は、週2回程度、よくしぼったフキンで汚れをふき取る。** 水路　蒸発皿 ご注意 ●本体の丸洗いはしないでください。本体の内部に水が入り、故障の原因になります。 ●蒸発皿はこまめにお手入れしてください。フッ素加工されていますが、長期間お手入れしないと、汚れがこびりついて落ちにくくなります。
吸気カバー・プレフィルター 吸気カバー　プレフィルター	**週1回程度、はずして、吸気カバーは水でスポンジを使って洗い、乾いた布でふく。 プレフィルターは水道水で手もみ洗いし、充分乾燥させてから必ず取りつける。** ※吸気カバーの取りはずし・取りつけかたは、P.12参照。 吸気カバー・プレフィルターの汚れがひどくなると、蒸気が出なくなったり、故障の原因になります。

5 お手入れのしかた

吸気カバーの取りはずし・取りつけかた

■取りはずしかた

少し下に押し、手前に引いてはずす。

■取りつけかた

吸気カバーのツメを、本体にはめ込んで取りつける。

長期間ご使用にならないときは…

お手入れ後、各部についた水を乾いた布でふき、日陰で自然乾燥してください。
（特に本体内部・クリーニングフィルターは充分に）
クリーニングフィルターは本体から取りはずしてください。
保管するときは、ポリ袋などで密封し、湿気の少ないところで保管してください。

ご注意
●湿ったまま保管しないでください。カビの発生する原因になります。
●旅行などで数日間使用しないときは、水タンク・蒸発皿・水槽・本体内部に残った水をすてておいてください。

6 故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、次の点をお調べください。
下記の点検・処置をしても改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠警告	修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない。

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください	参照ページ
電源を「入」にしても運転しない	プラグがはずれていませんか。	プラグを接続してください。	8
	給水/上限水位ランプが点灯していませんか。（水タンクに水は入っていますか。）	水タンクに給水し、本体にセットしてください。	7～9
	水タンクを本体からはずしていませんか。	水タンクに給水し、本体にセットしてください。	7・8
蒸気が出ない	水タンクがカラになっていませんか。	水タンクに水を半分以上入れてください。	7～9
	蒸気カバーが本体に正しく取りつけられていますか。	蒸気カバーを本体に正しく取りつけてください。	10
水タンクに水があるのに給水/上限水位ランプが点灯する	水タンクをセットした直後ではありませんか。	しばらくして水タンクの水が水槽を満たすと、給水/上限水位ランプが消えます。	9
	水路カバーがセットされていますか。	本体内部の水をすて、水路カバーをセットしてください。	5・7・8・10
	不安定な場所や、本体を傾けて置いていませんか。	本体内部の水をすて、水平な場所に本体を置いてください。	3・10
湿度が上がらない、または水が減らない	部屋が広すぎませんか。	適用床面積の範囲でお使いください。	14
	換気をしていませんか。	窓・戸を閉めてお使いください。	—
においが出る	本体内部・水槽が汚れていませんか。	本体内部・水槽のお手入れをしてください。	11
	水タンク・本体内部・水槽の水を放置したままになっていませんか。	水タンクの水は毎日新しい水道水と交換してください。また、本体内部・水槽に残った水は毎日すててください。	10・11
マイナスイオンが出ない、見えない	運転していますか。	マイナスイオンは見えません。運転しているときは、マイナスイオンが発生しています。	7・9
水もれする	水タンクふたを、しっかり閉めていますか。	水タンクふたを、しっかり閉めて本体に取りつけてください。	8
	蒸気カバーが本体に正しく取りつけられていますか。	蒸気カバーを本体に正しく取りつけてください。	10
蒸気孔以外の部分から蒸気がもれる	水路カバーがセットされていますか。	本体内部の水をすて、水路カバーをセットしてください。	5・7・8・10
蒸発皿・水槽・本体内部に異物がたまる	蒸発皿・水槽・本体内部を定期的にお手入れしていますか。	こまめにお手入れしてください。	11
	水道水以外の水を水タンクに入れて運転していませんか。	必ず水道水を使ってください。	4・8
プラスチック部分に線状や波状の箇所がある	これは樹脂成形時に発生する線状や波状の跡です。使用上の品質に支障はありません。		—

仕様

項目		50Hz	60Hz
電　源		100V	
周波数		50Hz	60Hz
消費電力		強 360W　弱 230W	強 360W　弱 190W
加湿能力（約）		強 400mL/h　弱 270mL/h	強 400mL/h　弱 200mL/h
連続加湿時間〈最長〉（約）※1		強 8時間　弱 12時間	強 8時間　弱 16時間
適用床面積（目安）（使用状況環境により異なります。）	木造和室	強 11m^2（7畳）　弱 7m^2（4畳）	強 11m^2（7畳）　弱 6m^2（3畳）
	プレハブ洋室	強 18m^2（11畳）　弱 11m^2（7畳）	強 18m^2（11畳）　弱 9m^2（6畳）
マイナスイオン量（約）目安※2		10,000個/cm^3	
水タンク容量（約）		3.2L	
外形寸法（約）幅×奥行×高さ		32.5×15.1×28.5cm	
質　量（約）		2.9kg	

※1 水量:満水、水温・室温:20℃、電圧:交流100V
※2 マイナスイオン量について
- 6畳にて「強」運転時、マイナスイオン発生口より高さ50cmでの数値です。
（当社試験室、室温20℃、相対湿度60%にて当社イオン測定器による測定値結果）
- マイナスイオン量は使用環境（室温、湿度、空気の汚れなど）によって異なります。

消耗部品の取り替えについて

クリーニングフィルターは消耗部品です。ご使用にともない傷んできます。汚れや破損がひどくなったときは交換してください。廃棄するときは、不燃物ゴミとしてすててください。

クリーニングフィルターは、お求めのタイガー製品販売店またはタイガーお客様ご相談窓口（連絡先→P.15参照）で、部品番号ASP1009とご指定の上、お問い合せください。

樹脂成形品について
※熱や蒸気にふれる成形品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、またはお買い上げの販売店にご相談ください。